

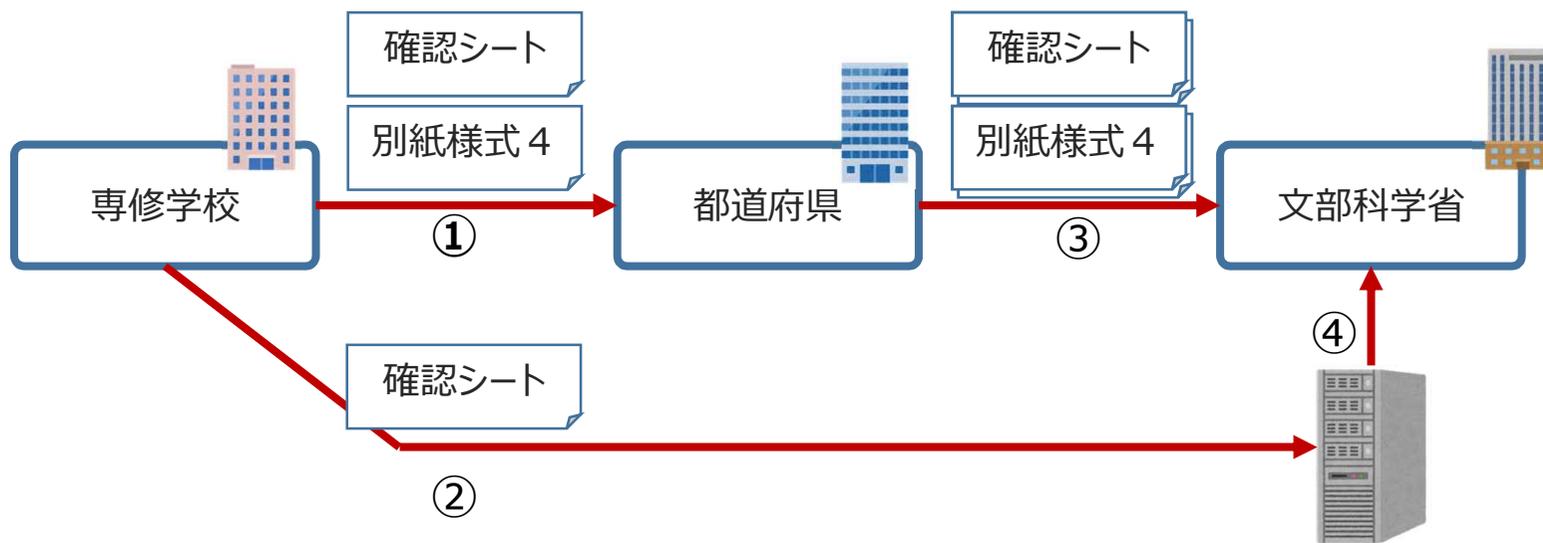
（現状）

- 職業実践専門課程（職実）のフォローアップ（F U）については、2018(H30)年度以降、委託事業を併用することにより、認定要件の充足状況の確認に加え、実質化されていると考えられる事例を抽出。
- これまでの取組を通じて、職実に係る様々な事例が蓄積された一方で、本手法は様々な書類を厳密に精査することから、対象とし得る学科の規模が限られることが課題。

（見直し案）

- 委託事業を通じて得られた知見を活用し、全ての学科を対象とした上で、機械的かつ簡素に実態を確認する手法を導入。（別紙参照）
- なお、見直しに当たっては、以下の点に留意する必要。
 - ・ 各学校においてP D C Aを回すことによる質の担保を本手法を通じて把握する方策
 - ・ 都道府県との連携の在り方
 - ・ F Uを通じて求める自己点検項目と各学校における自己評価との連動
 - ・ 認定要件の充足状況が不十分である学科への対応方策
 - ・ （引き続き、）実質化事例を把握するための方策
 - ・ 従前の委託調査で用いた精査手法に関して、第三者評価（外部評価）への転用可能性

- ① 専門学校は、認定要件確認シートと別紙様式4を都道府県に提出
- ② 専門学校は、都道府県への提出と併せて認定要件確認シートの回答内容を文部科学省が設けるフォームに入力
- ③ 都道府県は域内の専門学校における別紙様式4と認定要件確認シートを文部科学省に提出
- ④ 文部科学省は、各学校からのフォームの入力内容をチェックすることによりフォローアップに資する。



※認定要件確認シート
(イメージ)

→委託事業で活用している
様式を一部転用

項目	自己点検結果 (○または×)	×の場合は 対応方針を記入
(1) 修業年限が2年以上である。	○	-
...		
(2) ③教育課程編成委員会等の意見を活用して 教育課程の編成を行っている	○	-
...		
(4) 全課程の終了に必要な総授業時数が1700単位時間以上 又は総単位数が62単位以上である	○	-
...		